

BLSOプロバイダーコース

in 恵寿総合病院

「妊産褥婦・新生児への対処法を医療者の Basic に」

Basic Life Support in Obstetrics(BLSO)は、日常的には妊産婦・新生児に関わらないものの、突如急変場面に遭遇する可能性がある救急救命士、救急科の看護師・医師、家庭医を主な対象とした教育プログラムです。

- ・ 産科疾患の見落としを避ける
- ・ 周産期施設以外での分娩を避ける
- ・ しかし、避けられない事態に遭遇した際の対処を行うことができる

この目標に対し、分娩介助・新生児蘇生・女性傷病者の評価を講義と実技のワークステーションを行い、実際の症例をもとに検討を行う1日コースです。受講後、筆記試験とマネキンを用いた実技試験に合格すると米国家庭医療学会と ALSO-Japan が認定する3年間有効の認定証が発行されます。

Basic Life Support in Obstetrics

日 時：2023年9月30日（土）

場 所：社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院(石川県七尾市)

定 員：3名 ※次ページに条件記載あり

参加費：15,000円 ※認定料含む

主 催：恵寿総合病院、能登地域総合診療強化研究会

共 催：NPO法人 周産期医療支援機構(OPPIC)

公募なし（受講者は能登地域の消防署限定となります）

問い合わせ

ALSO-Japan事務局：shuseiki3@gmail.com

申込条件

- 能登地域の方に限定します。
- 同じ消防署内の3名1グループでお申し込みください。
- グループ全員の参加者情報が必要です。申込者各自で申込みフォームを送信してください。

プレテスト

プレテストは登録完了後、教育提供サイトからダウンロードし、回答をコース当日に提出してください。

提出が無い場合は受講できません。

購入必須 テキスト

下記のテキストをご購入ください（事前学習に必要です）

- 日本版救急生成ガイドライン2020に基づく、新生児蘇生法テキスト第4版
（監修：細野 茂春 発行：メジカルビュー）
- 病院前救護のための産科救急トレーニング – 妊娠女性・院外分娩に対する実践的な対処法
（監訳：新井 隆成 発行：中外医学社）

プレテスト、筆記試験の問題は全て上記から出題されます。

本コースは、新型コロナウイルス感染対策を実施し、開催いたします。参加者の皆様には、マスク・ゴーグル・手袋の着用等、感染対策にご協力をお願いいたします。持ち物等の詳細については受講決定後にご案内いたします。

コーススケジュール（予定）

8:45～ 9:00	受付
9:00～ 9:15	オープニング・コースオリエンテーション
10:15～10:15	分娩介助 実技練習
10:25～11:10	新生児蘇生 実技練習
11:20～12:20	女性傷病者の評価（症例を想定した演習）
12:20～13:10	ランチタイム
13:10～13:15	試験準備（試験オリエンテーション）
13:15～14:50	実技試験 ⇔ 筆記試験・車内分娩
15:00～16:00	症例検討（ディスカッション）
16:05～16:20	クロージング

アクセス



車

【東京から】 所要時間：約7時間



電車

- ・東京---金沢---七尾：約3時間30分
(2015年3月14日 北陸新幹線金沢開業)



バス

【金沢から】 所要時間：約1時間



飛行機

- ・羽田---のと里山空港：約1時間
(のと里山空港→ふるさとタクシー：約50分 ※要予約)
- ・羽田---小松空港：約1時間
(小松空港→バス→電車：約2時間30分)

